

2022年12月2日 第3410回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
- <斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
- <唱和> *「四つのテスト」
- <ゲスト紹介> *地区危機管理委員会 委員長 石田 隆 様 (逗子RC)
- <誕生日祝> *高橋 隆一 (S.36.12.6) *梁井 康市 (S.36.12.7)
*鈴木 之一 (S.33.12.24) *角井 駿輔 (S.60.12.24)
*臼井 健 (S.48.12.25) *宮島 才一 (S.24.12.26) 各会員
- <入会月祝> ・田邊 一三 ・澤田 菊江 ・前田 長生
・Enora Rogers ・杉浦 浩子 各会員

<社会奉仕委員会 加藤(淳)委員長へ感謝状授与>

<Enora Rogers 会員がロータリー財団へ30万円寄付されました>

- <会長報告> *第5回理事役員会 報告
- ・12月23日開催予定の年忘れ家族会予算書の件
 - ・1月13日開催の夜間情報集会の実施企画書の件
 - ・令和5年3月12日開催予定10000メートルプロムナードクリーン作戦の件
 - ・令和5年1月25日、26日、職業体験学習の引受けについて
 - ・奉仕の基金コンプレーションの最終選考会の収支報告の件

*セブRC90周年記念式典参加報告

*次年度第1グループガバナー補佐付幹事 鈴木 孝博 会員

<委員長報告> *雑誌委員会 小保内副委員長よりロータリーの友12月号

*出席委員会 鈴木 豊 委員長より11月分出席報告11月分平均出席率74.59%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
11月4日	116名	108名	79名(5名)	29名	10名	82.41%
11日	116名	105名	71名(9名)	34名	12名	78.30%
18日	116名	102名	47名(名)	55名	21名	64.76%
25日	116名	107名	75名(8名)	32名	3名	72.90%

<幹事報告> *西RC、北RCから週報受領

<出席報告> *出席委員会 田村副委員長より12月2日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
115名	101名	80名(9名)	21名	1名	80.20%

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2780地区地区危機管理委員会 委員長 石田 隆様
横須賀RCの皆様本日宜しくお祝い致します。
- ・三 役 国際ロータリー第2780地区地区危機管理委員会 委員長 石田 隆様
本日の卓話よろしくお祝い申し上げます。
- ・大野 健、植田、八巻、梁井、比護、福西、田中、
立石、勝見、松本 昴、Loknath、南、高橋、勝間、佐久間、
田邊、岡田 健、濱田、前川、北村、徳永 各会員
国際ロータリー第2780地区地区危機管理委員会 委員長 石田 隆様、本日は横須賀RCにお越しくださりに有難うございます。卓話どうぞ宜しくお祝いいたします。
- ・高橋、梁井、鈴木 健、角井、宮島 各会員 誕生日祝いとして
- ・田邊、前田、Enora、杉浦 各会員 入会月祝いとして

- ・VTT特別委員会 鈴木 豊 副委員長 先週26日より2泊3日でセブ島へ渡航。セブロータリークラブ 創立90周年パーティーに参加しました。現地では短くも太い時間を過ごし、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・植田、八木、椿、児玉、鈴木 働、石田、田村、長谷川、岡田 隼、永井、大石、杉浦、加藤 備、中村 備、藤村、鷺尾、木村、馬場、新倉 良、小平、小山 働、上林、高橋、猿丸、小林 (-)、濱田、小山 働、小保内、根岸、前川、Enora、徳永、笠木、浅葉 各会員 サッカーW杯、日本代表スペイン撃破！決勝トーナメント進出おめでとう！
- ・前田 会長 今月もニコニコをどうぞ宜しくお願いします。

<年次総会> *総会成立報告 ・出席定数を満たすので総会は成立します。
 *第1号議案 2024～2025年度会長ノミニー選出の件：高橋 隆一 会員
 *第2号議案 2023～2024年度理事役員選出の件

・会長	藤村 昌一	・会長エレクト	高橋 隆一
・副会長	高橋 隆一	・幹事	鈴木 之一
・SAA	角井 駿輔	・会計	鷺尾 精一
・理事	物井 宏介	・理事	八木 達也
・理事	齋藤 秀人	・理事	植田 威
・理事	小林 一博		
・直前会長	前田 長生		
・副幹事	兼城 毅	・副SAA	小山 美智恵
・監事	三掘 孝夫		

*第1号議案、第2号議案共に満場一致で成立しました。

<卓 話> 「ロータリーと危機管理」

地区危機管理委員会
 委員長 石田 隆 様

皆様こんにちは、逗子ロータリーから参りました。石田 隆と申します。地区危機管理委員長を務めさせていただきます。今日はロータリーの危機管理ということで皆さんにご理解いただくという機会にしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

ロータリーの危機とはなんでしょうか？ロータリーの組織にとって好ましくないこと、都合の悪いことの全てを指します。(ハラスメント、自然災害、テロ、パンデミック、など) RIは危機について多くの事例をあげており、世界規模では 戦争、テロ、薬物問題、自殺、交通事故などが考えられます。日本の危機の対象

は、自然災害（地震、津波、台風、大雨、洪水など）、パンデミック（ウィルス性感染症の世界的大流行）、ハラスメント（パワハラ、セクハラなど）、個人情報保護、サイバー攻撃・情報操作などになります。

今日は、その中で我々が一番注意しなければならぬハラスメントについてご説明したいと思います。ハラスメント＝嫌がらせは、いじめ、個人またはグループをあらゆる特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向または性自認）に基づいて、言葉であれ、身体的であれ、誹謗、中傷、侮辱 または攻撃する言動を指します。相手が不快・嫌・ハラスメント（パワハラ・セクハラ）と感じればハラスメントになります。日本に限らず、世界的に「ハラスメント」は大きく変化しました。告発し易い環境と意識の変化によりメディア報道やSNSの普及で告発や配信が容易になりました。ハラスメントは、社会に問題提起し易くなり、社会的ステータスの高いロータリアンは、報道の絶好のターゲットになり易いことを理解すべきです。今年春にニュースにもなった第2680地区のセクハラ事件はまだ記憶にあると思いますが、まだ解決していないようです。

ロータリーの危機管理は、2004年大阪国際大会の一件が発端となり2006年「青少年保護規定」青少年交換プログラム（セクハラ）からロータリーの危機管理がスタートしました。そして、各地区への危機管理委員会設置の要請、2018年「青少年保護規定」にRIが認定している青少年奉仕プロジェクトの全てに対象が拡大し、虐待も追加されました。また2019年には地区／クラブが実施する全ての青少年奉仕プログラムに範囲が拡大し、それに加え対象をロータリアンへ拡大、「成人ハラスメントポリシー」の発表もありロータリーの危機管理が広範囲になりました。一般社会でも同じですが、我々ロータリアンは行動規範にある高潔さと高い倫理基準をもって行動することを心掛けるべきです。

RIのハラスメントに関する規定の要点としては、RIはハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用し、ゼロ容認方式（ゼロ・トレランス）とする。申し立てが受理された時点で全て司法機関（警察）に委ねる。被疑者と被害者との接触を断つ。被疑者が有罪と宣告され、それに関与したロータリアンについても、クラブは会員の身分を終結する。クラブがこれを怠った場合は、RIはその身分を終結し、クラブの認証を取り消すなどの規定があります。

RIの青少年保護に関する規定の要点としては、セクハラが起こった場合、クラブ役員が知った時から72時間以内にRIに報告しなければならず、怠った場合はクラブの認証を取り消す。ガバナー・地区委員長・クラブ会長・クラブ委員長を対象とした人格権特約賠償責任保険へ地区として加入する。青少年交換学生が旅行する際の手続き要項の規定と保険に加入。インターアクトの海外研修は青少年交換学生の旅行手続きに準ずるなどを設けています。また、2019年1月にロータリアンの行動規範に「成人ハラスメントポリシー」を追加し、ロータリークラブの会合・行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告した人への報復が起こらないように確認するなど規定を設けています。日本のハラスメント関連の法規（参考資料）として、2006年4月1日施行セクシャルハラスメント防止措置義務、2015年12月1日施行ストレスチェック制度義務（メンタルヘルス）、2017年1月1日施行マタニティハラスメント防止措置義務、2020年6月1日施行パワーハラスメント防止措置義務などの法律があり、ハラスメントが起こった場合は、日本の法律を優先して対応しています。

パワーハラスメントの本質はとは何でしょうか？相手も自分も人間としては対等であるという意識の再確認、地位が上がることにより、人間的にも偉くなったと錯覚する。自己の成功体験をリセットできない人、柔軟性・環境の変化への適応力・寛容の精神の欠如や、指導・教育・注意の効果＜手段としての言動として



昔ながらの先輩後輩の人間関係などには気をつけて下さい。人としての「品性」の問題、企業としての「品格」の問題なども上げられます。

当地区で発生した事案になります。ROTEX(青少年交換学生OB/OG)のストーカー被害の件は、ROTEXがスポンサークラブの会員からストーキング被害をうけた事案となり、会員の身分を終結、72時間ルール適用し、RIへの報告となりました。また、カウンセラーからの来日学生(IBS)パワハラ被害の件は、カウンセラー(理事)がホストクラブ理事会に虚偽の報告をし、理事会決定で来日学生の早期強制帰国を画策した事案については、地区の問題として捉え危機管理委員会より勧告し、来日学生については希望通りの全てのプログラムを修了することが出来ました。

最後に危機管理委員会からのお知らせ、「おなやみごと(ハラスメント)相談窓口を地区ホームページ上に開設いたしました。ロータリーの会員(RAC含)とロータリーのプログラムに参加する人達(未成年者含)の相談ごとの受け皿として11月より運用を開始しました。地区ホームページ下部に「おなやみごと(ハラスメント)相談窓口」のバナーを設置、相談案件は、守秘義務を厳守します。重大案件に関して危機管理チームで敏速に対応します。ロータリアンは高潔さと高い倫理基準をもって行動すれば危機は発生しないという意識を持ってロータリー活動に活かしていただきたいと思います。

<閉会・点鐘> 13:30 前田会長

週報担当 比護友一